



2020年11月2日発行

2020年11月号 (通算242号)

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102  
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 【2020～2021主題】

国際会長 Jacob Kristnsen 「Values, Extension and Leadership」  
 アジア太平洋地域会長 David Lua 「Make a Difference」  
 東日本区理事 板村 哲也 「変化をたのしもう！」  
 あずさ部長 御園生 好子 「変わるに挑戦」  
 東京武蔵野多摩会長 渡辺 大輔 「新しい生活様式の中で何ができるのか。」

## 【クラブ役員】

会長 渡辺 大輔  
 副会長 小林 文彦  
 書記 山口 直樹  
 会計 宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2020年  
11月の聖句

自分によいことをしてくれる人に善いことをしたところで、どんな恵みがあろうか

ルカによる福音書 第6章33節

### ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

### ワイズの信条

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにY M C Aに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 11月例会の予定

強調月間：ワイズ理解 ASF

ファミリーファスト

日時：11月11日(水)

19時15分(集合19時)～20時45分

会場：東京YMCA西センター(ズームも併用)

(控え場所が狭いので19時以前の入館禁止)

(プログラム)

- \* 開会点鐘(会長)
- \* ワイズソング
- \* ゲスト、ビジター紹介
- \* 卓話 全国フードバンク推進協議会  
事務局長 米山広明さん
- \* 連絡、報告、にこにこ

\* **11月のハッピー・バースデー** 該当なし

## 10月例会報告

在籍者	11名
出席者	8名
メーキャップ	0名
出席率	73%
ゲスト(リーダー)	0名
ビジター	0名
メネット・コメント	0名
にこにこ	0円

## 東京武蔵野多摩クラブ 10月例会(10月14日)報告

10月例会は、DBCの神戸学園都市クラブとオンライン合同例会を開催した。ゲストとしてチャーターされたばかりの千葉ウエストクラブの長尾さんも参加された。

卓話は、それぞれのクラブの担当主事からYMCAの現状を語ってもらった。

### 武蔵野多摩クラブ担当主事の出沼さん

東京Yでは、宿泊を伴うキャンプは春も夏も中止し、日帰りのプログラムや、山中や野尻のキャンプ場でのファミリーキャンプを実施している。ファミリーキャンプは好評である。冬のキャンプは規模を縮小し実施する予定。専門学校はオンラインを中心に授業を行っていたが、徐々に対面の授業も増やしてきている。保育園など行政との関連のものはその指示に従って行っている。今後は感染予防に留意しながら、新しい展開を模索していく。

### 神戸学園都市の連絡主事の桜井さん

大阪Yの国際専門学校(3月まで出向)は留学生がほとんどであったので、学生への対応が大変であった。コロナの影響を一番受けた状況だと思う。また、西神戸センターの神戸高等学院では、オンラインではなかなか気持ちの変化などがわかりづらい状況であったが、10月からは通常の状態に戻ってきている。学童保育系の事業は逆に大変必要性が高く、大勢の参加があった。神戸Yも大変厳しい状況であるが、今後について模索中である。

最後に、参加者一人一人近況などを語り、次は直接顔を合わせることを願いつつ会を終了した。

(山口直樹)

### ◎11月例会「コロナ対策」のお願い

- ・参加者はマスク着用 ・体調の悪いときは参加しない
- ・入り口で検温、洗面所で手洗い→消毒
- ・ワイズソングなど歌唱はしない。
- ・食事はなし。飲み物は必要な方は各自持参。

第24回あずさ部部大会 報告

開催日 2020年10月17日(土)  
場所 高尾の森 わくわくビレッジ  
時間 13時～  
クラブ参加者 渡辺 板村 宮内 小林 山口 中村

第24回あずさ部部大会に参加しました。当クラブからは6名が参加。開会点鐘の後、会場の都合により、ワイズソングは「各自胸の裡で」、次に御園生部長からの挨拶で会が始まりました。直前アジア太平洋地域会長である田中直前会長から国際表彰があり、当クラブは「Challenge 22 100 Day Membership Campaign」での会員増強に対する表彰を受けました。その後、会食の後にお楽しみタイムとして、①ジャズ演奏「浅羽俊一郎さんとその仲間」、②「中村ルミ子さんの紙芝居と米長晴信さんのマジックショー」、③「東さんの駄菓子屋さんと昔の遊び」が開催され、流れ解散となりました。

コロナの影響で普段の部大会とは構成や時間配分も大きく異なりましたが、部の仲間が久しぶりに顔を合わせる事ができたことが何よりの収穫と、皆さんが満足された会でした。



(中村吉孝)



<東京YMCA便り>

▼西東京スタッフ郷さんを熊本豪雨災害避難所に派遣  
熊本YMCAが運営委託を受けている「旧熊本県立多良木高校避難所」に、西東京スタッフ郷さんを含め、東京YMCAから9名のスタッフを派遣しました。施設の整備や衛生管理、食事の配膳、救援物資の仕分け、子どもの遊び、健康のための運動指導など、運営全般に携わりました。

▼冬季プログラム受付開始  
定員を減らすなど新型コロナウイルス感染対策を徹底し、ファミリーキャンプやネイチャーキャンプなどの新しい企画も取り入れて実施することにいたしました。一般受付は10月28日から。また宿泊を伴うコースの一部は、GoToトラベルキャンペーンの適用を受けることが決まりました。

▼今後の予定  
11月12日 「YMCA/YWCA合同祈祷週礼拝」  
会場：社会体育・保育専門学校/説教：金性済(キム・ソンジ)牧師(日本キリスト教協議会総幹事)  
\*会場出席の他、オンラインによる参加もあります。

(出沼一弥)

DBCクラブ訪問

10月1日(木)19:00～, 西神戸YMCA(412室にて)

大阪に出張があり、神戸学園都市クラブを訪問して来ました。当日の事務例会では、部大会の報告・案内や、クラブファンド事業(黒にんにく、じゃがいも)、わいわいまつりONLINEなどについて、熱く協議されていました。

当方からは、14日に予定している合同Zoom例会の概要の説明、お願いをしてきました。

神戸YMCAでも、まだ館内での食事などはしていない様子でしたが、教室内ではある程度距離を保ち、マスクやマウスシールドを着用し、換気しながら実際に集まって開催されていて、非常に楽しそうな雰囲気でした。前に訪問したときよりもメンバーも増えており例会には12名の参加でした。

例に漏れず、行きつけのお店で二次会が開催され、二部でも熱い語らいの時間を持つことができました。

東京西クラブ訪問

10月22日(木)18:45, ウェルファーム杉並(集会室にて)

東京西クラブから、卓話で今話題のZoomの使い方を教えて欲しいと8月頃から依頼が来ていましたが、当方の仕事の都合などで10月になってしまいました。

東京西クラブでは、Zoomが使えないと言うことで何回かは中止になったようですが、感染対策を徹底して、ずっとリアルな例会を(食事付きで)開催されてきたそうです。そうであれば、今さらZoomは必要ないのではないかとも思いましたが、今後また非常事態宣言や、老人ホームにいるメンバーが遠隔にて参加できるようにとの配慮からZoomの導入を考えているそうです。

当方の拙い話しでしたが、みなさんの一生懸命な思いが伝わってきました。

東京西クラブは、DBCクラブも多いということで今後、クラブ例会の他、DBCクラブともリモートでの実施を検討しているとのことでした。

(渡辺大輔)